

- 【社会教育】 604号 (1996年10月)
文 部 省「『青少年の野外教育の充実について』(報告)の概要」
- 【社会教育】 604号 (1996年10月)
—————「地域における生涯学習機会の充実方策について(答申)その5」
- 【社会教育】 610号 (1997年4月)
—————「第36回社会教育研究全国集会基調提案」
- 【月刊 社会教育】 486号 (1996年7月)
市川信男/荏原八笑子/谷岡重則/大串隆吉/長澤成次/司会・荒井容子
「座談会 生涯学習審議会答申をどう読むか」
- 【月刊 社会教育】 493号 (1997年1月)
小川 利夫「いま改めて『社会教育をどうとらえるか』②」
- 【月刊 社会教育】 495号 (1997年3月)
—————「資料欄/第5回国際成人教育会議の目的等」
- 【月刊 社会教育】 496号 (1997年4月)
—————「資料欄/第5回国際成人教育会議宣言第1次草案」
- 【月刊 社会教育】 497号 (1997年5月)
部落解放研究所【『生きた字がほしいんやーしきじく出会い・支援・指導の手引き』
(1997年2月)】
- 巡 静一【『生涯学習とボランティア活動ー学びの生活化と社会化』
明治図書出版(1996年7月)】

11 その他

- 古長 寛人「いじめ育む土壌とは一鹿児島県知覧町いじめ自殺問題」
【ヒューマンライツ】 108号 (1997年3月)
- 森川 早苗「客主提選とは何かーアサーション・トレーニング」
【解放教育】 341号 (1996年7月)
- 文 部 省「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」
【社会教育】 603号 (1996年9月)
—————「インタビュー 学校から合校^{がっこう}へー櫻井修さんに聞く」
- 【社会教育】 607号 (1997年1月)
- 特集 いじめ問題への対応 【教育委員会月報】 555号 (1996年7月)
—————「資料 いじめの問題に関する総合的な取組について(通知)」
—————「資料 いじめの問題に関する総合的な取組について(報告)」
—————「資料 いじめの問題に関する総合的な取組について(概要)」
—————「資料 いじめの実態について」

- 中村 拓三「子どもの権利条約への道程」
 中野 陸夫「『世間』をただす部落問題学習へ」
 松村 英幸「自らの生き方を問う教育を」
 堀 正嗣「障害者問題学習と教材開発の基本的視点」
 内海 俊行「仏（授業）つくって、魂（福祉の心）入れず」
 武藤 啓司「だれでも『自分の世界』の主人公」
 桑原 加代子「男女共生教育一働く者の視点から」
 杵淵 真「女性の人権とともに、男性の人権を考える」
 染谷 幸二「〈男の本音〉から女性の人権を考える」
 明石 要一「教師の人権感覚をみがき子どものつぶやきをキャッチする」
 増田 義人「正義の『うねり』を引き出す教材」
 土作 彰「欧米の授業プランを活用しよう」
 三輪 辰男「多面的・多角的な検討を！」
 稲富 進「在日韓国・朝鮮人問題の授業化を巡って」
 長尾 彰夫「人権教育のカリキュラム（3）」
 中尾 健次「戦後『部落問題学習』の問題点（3）」
 印藤 和寛「部落史教育上の問題点一部落差別と朝鮮人差別の関係にふれて」
 『関西大学人権問題研究室紀要』 33号 (1996年6月)
 —————「特集／『いじめと人権』教師に何が出来るか」
 『現代教育科学』 476号 (1996年7月)
 北口 末広「多様な同和教育教材とカリキュラムの創造を」
 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
 大阪府同和教育研究協議会「新しい人権教育」プロジェクト編
 『わたし・出会い・発見～自分らしさを発見し、豊かな仲間づくりをめざす教材・実践集』 (1996年5月)

③ 集団づくり

- 佐藤 学「個と個の差異の交歓が生み出す共同体へ」
 『解放教育』 339号 (1996年5月)

④ 進路保障

- 特集 進路意識をきたえる 『解放教育』 348号 (1997年2月)
 元木 健「アメリカの総合制高等学校」
 大阪府高同研「『統一用紙』のさらなる趣旨徹底を求めて」
 山本 博「集団づくりと進路保障」
 後藤 公子「子どもたちの進路を閉ざさないで」
 貝塚市立第二中学校「生き方を考える」
 落合 信「就職の厚い壁に挑む一障害者の仕事保障を」

- 藤村 正司「新潟県の大学進学率はなぜ低いのか？一学力・所得・供給構造」
 『新潟大学教育学部紀要』 (1996年10月)
 大阪府同和教育研究協議会進路保障専門委員会
 『大阪の進路保障 進路実態追指導調査報告第25集1995年度版』 (1997年1月)

⑤ その他

- 特集 いじめと同和教育 『部落解放』 410号 (1996年9月)
 明石 一朗「子どもの人権を考える一『いじめ』問題は差別社会の反映」
 阪本 明子「保育所『きめつけ』を許さずなくしていける仲間づくりをめざして」
 園田 雅春「小学校『いじめ』という差別の中の子どもたち」
 永野 稔子「中学校『みんなを信じてよかった』」
 日下 素郎「高校 生徒と丹念につきあうところから」
 鍋島 祥郎「日本の教室・アメリカの教室」
 『解放教育』 338号 (1996年4月)
 藤井 誠二「いじめの制度化と学校言語」『解放教育』 338号 (1996年4月)
 保坂 展人「『いじめ』解決にむけて」『解放教育』 338号 (1996年4月)
 文 部 省「いじめの問題への取組の徹底等について（通知）」
 『解放教育』 338号 (1996年4月)
 特集 マルチメディア学習のすすめ 『解放教育』 344号 (1996年10月)
 矢野 洋「同和教育にパソコンは必要か？」
 森田英嗣・濱田通世「授業づくりにおけるインターネット活用の可能性」
 松山尚文・中村 香「子どもとメディア学習」
 大阪府立柴島高等学校「コンピューター活用授業と学力保障」
 西村 寿子「子どものメディア環境をめぐって活発な討議」
 高木 典子「私のインターネット革命」『解放教育』 347号 (1997年1月)

9 大学教育

- 緒方 章宏「大学における人権教育」『季刊 教育法』 106号 (1996年6月)

10 生涯学習・社会教育

- 西条誠司／杉山 悟／辻 義則／宮田新太郎／司会構成・東上高志
 「座談会 同和（人権）啓発の終結と社会教育」
 『部落』 618号 (1997年4月)
 文 部 省「社会教育指導者の手引き一高齢化に対する学習のすすめ方について」
 『社会教育』 602号 (1996年8月)
 田丸 淳哉「社会教育関係職員の研修のあり方」
 『社会教育』 604号 (1996年10月)
 文 部 省「『衛星利用による公民館等の学習機能高度化推進事業』の実施について」

- 内海 和雄「現代の親の子育て意識とPTA活動」
『月刊 社会教育』 490号 (1996年11月)
- 山下 雅彦「ネットワークの時代の子育てとPTA」
『月刊 社会教育』 490号 (1996年11月)
- 内田 純一「地域づくりネットワークと社会教育」
『月刊 社会教育』 増刊号 (1996年12月)
- 片山 真「PTAと地域教育運動」
『月刊 社会教育』 増刊号 (1996年12月)
- 荒井 文昭「「分権化」のもとでの学校と地域」
『月刊 社会教育』 496号 (1997年4月)
- 高田 一宏「同和地区における保護者の教育意識と学力形成—大阪府A市での聞き取り調査から」
『大阪大学人間科学部紀要』 22号 (1996年3月)
- 神原 文子『同和地区と一般地区との比較による子どもたちの現状と子育ての今日的な課題 21世紀・高度福祉社会を実現する解放教育をめざして』
(「現代の子育てと親子関係に関するアンケート調査」中間報告書) (1996年9月)

7 識字運動

- 小沢 有作「識字教育の新しい歩みを」 『解放教育』 347号 (1997年1月)
- 小沢 有作「日本の識字問題に取りくもう」
『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 今西 幸蔵「ワークショップで学ぶ識字問題」
『社会教育』 609号 (1997年3月)

8 学校教育

①学力保障

- 細河中学校区研究冊子編集委員会「自己学習力を育てるために」
『解放教育』 339号 (1996年5月)
- 鍋島 祥郎「エフェクティブ・スクールの観点から見た日米の学力保障比較」
『同和問題研究』 18号 (1996年3月)

②人権・部落問題学習

- 大寺 和男「同和教育の現状と課題～同和教育実践を通して人権教育を展望するた
めに」 『部落解放』 臨時号417号 (1997年2月)
- 山口登志夫「一九九五年度 一般校で「部落起源史」をいかに教えたか」
『ひらく』 11号 (1996年5月)
- 林 和広・橋本巧一

- 「「ぬのしょう、タウン・ワークス」新しい人権学習の展開—国際理解教育の
取り組みを中心に」 『部落解放研究』 112号 (1996年10月)
- 川向 秀武「いま一度、狭山事件を教育課題に」
『解放教育』 339号 (1996年5月)
- 特集 教材開発の着想と技法—人権教育を進めるために
『解放教育』 343号 (1996年9月)
- 稲垣 有一「人権学習材の今日的条件」
- 角田 尚子「グローバル教育における教材開発の論理」
- 田島 伸二「識字教材の開発にかける」
- 尾籐りつ子「『AIDSをどう教えるか』の編集から見えてきたもの」
- 坂本 研二「魚の目玉から見た人権教育」
- 大 同 教「『わたし 出会い 発見』のめざすもの」
- 特集 人権・部落問題学習をつくる 『解放教育』 345号 (1996年11月)
- 川向 秀武「人権・部落問題学習の課題—「定式化」からの離陸」
- 千原 暁子「「国際理解」におけるマイノリティー」
- 小川 一芳「アイヌ民族の理解を深めるために」
- 脇田 学「人権教育のパスpekティブ」
- 榎本 留美「お母さんもかん国もだいすきです」
- 徳永 靖彦「親の生き方に学ぶ」
- 河野 睦子「地域の教材化にあたって—一袋井用水を拓く工事にしかかわった人びと」
- 田中 欣和「性差別問題と解放教育」
- 中島 智子「人権教育を考える」 『解放教育』 347号 (1997年1月)
- 堀 智晴「障害児を排除しない解放教育を」
『解放教育』 347号 (1997年1月)
- 桑原加代子「男女平等教育のあり方」 『解放教育』 347号 (1997年1月)
- 「資料」『男女平等教育の在り方に関する研究』(大阪府教育センター)より
『解放教育』 347号 (1997年1月)
- 特集 人権教育のプランをどう設定するか
『人権教育研究』 7号 (1996年5月)
- 中村 拓三「同和・解放・人権の各教育について」
- 森 実「国際人権教育の奔流が日本にきた」
- 源 勁一「「自尊感情」を育てることが必要だ」
- 長尾 彰夫「人権教育のカリキュラム(2)」
- 中尾 健次「戦後「部落問題学習」の問題点(2)」
- 特集 人権教育のための教材開発 『人権教育研究』 8号 (1997年1月)
- 鈴木 祥蔵「人権文化の観点に立って」
- 曾和 信一「人権教育と意識化」
- 川向 秀武「人権思想の歴史を子どもに伝えるために」

- 「大阪府の子ども施策」 『はらっぱ』 162号 (1997年4月)
- 若井 彌一「学習指導要領の法的拘束力をめぐる論争」
『現代教育科学』 477号 (1996年8月)
- 長尾 彰夫「[試案]から[告示]へ—学習指導要領の変化の意味するもの」
『現代教育科学』 477号 (1996年8月)
- 黒崎 勲「個性的な「基礎・基本」教育の必要性」
『現代教育科学』 480号 (1996年10月)
- 安達 拓二「高校教育改革の推進状況報告書」
『現代教育科学』 487号 (1997年5月)
- 部落解放研究所編『地域の教育改革と学力保障』 解放出版社 (1996年9月)
- 部落解放研究所編『高校教育改革への挑戦—総合学科を軸に』 (1996年9月)
- 『1995年度 大同教活動改革検討委員会報告書』
大阪府同和教育研究協議会活動改革検討委員会 (1996年5月)
- 小野庸子・大森修編著『みんなで考える“共生時代”の学校づくり』
明治図書出版 (1996年11月)
- 寺脇 研『動き始めた教育改革』 主婦の友社 (1997年1月)
- ### 5 保育・就学前教育
- 部落解放研究第29回全国集会 第10分科会／解放保育の課題
『部落解放』 臨時号402号 (1996年2月)
- 鈴木 祥蔵「国際的な人権の流れ」
- 伊藤 勉「子どもたちの全面的な発達を願って！」
- 前田 嘉子「解放保育運動の拡がり」
- 北山 俊乃「解放保育の課題と展望」
- 藤井 博「エンゼルプランの具体化を」
- 玉置 哲淳「アメリカの人権保育にふれて」
- 岩堂美智子「なぜ今、子育て支援なのか」
- 玉置 章子「エンゼルプランをどう生かすか①／人権を核にすえた子育て支援を」
『部落解放』 403号 (1996年3月)
- 玉置 哲淳「エンゼルプランをどう生かすか②／エンゼルプランを契機に同和保育
の改革を—アメリカのヘッドスタートを踏まえて」
『部落解放』 404号 (1996年4月)
- 玉置 哲淳「部落の子どもの賢さを育てる方略と支援の体制—アメリカの保育から
学んで」 『部落解放研究』 110号 (1996年6月)
- 玉置 哲淳「同和教育の根本として幼児の育ちを」
『解放教育』 347号 (1997年1月)
- 特集 人権保育カリキュラムへの提言を読む
『はらっぱ』 157号 (1996年10月)

- 堀 正嗣「草の根の活発な論議を希って」
- 岩堂美智子「おとなの生き方を問う「提言」」
- 枝本信一郎「保育者への励ましとして」
- 大同教 「子どもの育成と地域ぐるみの教育」専門部会
「参加型保育っておもしろい——人ひとりを大切に保育を」
『ちゃいるどライツ』 8号 (1996年11月)
- 中田 成慶「O-157集団食中毒と人権」
『ちゃいるどライツ』 8号 (1996年11月)
- 上野 茂「節分とひなまつり」『ちゃいるどライツ』 9号 (1996年12月)
- 豊中市立南丘保育所「同和教育と行事—保育所現場から」
『ちゃいるどライツ』 9号 (1996年12月)
- 北出 昭「子どもらに引き継ぎたい地域の文化遺産」
『ちゃいるどライツ』 9号 (1996年12月)
- 森田 明美「幼稚園・保育所制度の連携と弾力化」
『教育評論』 598号 (1997年3月)
- 小久保義直「家庭教育（乳幼児期）に関する一考察」
『社会教育』 611号 (1997年5月)
- 人権と仲間関係研究会編『人権と仲間関係96』 解放出版社 (1996年10月)
- 大阪同和保育研究協議会編『人権の保育をつくる』 解放出版社 (1996年11月)
- 鈴木 祥蔵「知っていますか？「エンゼルプラン」一問一答」
解放出版社 (1996年11月)

6 地域教育運動

- 「各地域における解放学級のあゆみ」
『ひょうご部落解放』 69号 (1996年5月)
- 繁内 友一「部落解放子ども会活動の基底に求められるもの」
『解放教育』 337号 (1996年3月)
- 金香百合・話「地球おまかせ隊の五年間をふりかえって」
『解放教育』 337号 (1996年3月)
- 滝沢／北林／進藤「青少年会館の活動と親組織のとりくみ」
『解放教育』 337号 (1996年3月)
- 川島 憲志・高田 研
「まちづくりとワークショップ—箕面市北芝「未知なる道で遊ぶワーク
ショップ」の試み」 『解放教育』 341号 (1996年7月)
- 新居 晴幸「ふれ愛教育推進事業の推進を」
『解放教育』 347号 (1997年1月)
- 文 部 省「[地域教育活性化センター活動推進事業]について」
『社会教育』 611号 (1997年5月)

- 『クリエイイト』 30号 (1996年11月)
- 池田 寛「『解放の学力』論をめぐって(2)」
『人権教育研究』 7号 (1996年5月)
- 池田 寛「『解放の学力』論をめぐって(3)」
『人権教育研究』 8号 (1997年1月)
- 河瀬 哲也「同和教育の諸成果—どの子ども伸びる研究会の研究課題」
『どの子ども伸びる』 235号 (1996年6月)
- 松尾 繁「中学校の現場から 新学力観と同和教育」
『どの子ども伸びる』 237号 (1996年8月)
- 辻本 正教「『同和』教育の総括と展望」
『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 藤里 晃「同和教育の実際」『教員養成セミナー』 182号 (1996年6月)
- 柴谷 篤弘「差別・人権教育をかながえなおす」『差異のディスコース』
・ 京都精華大学差別「問題」をめぐる認識に関する研究会 (1996年11月)
- 森山 沾一「『同和』・人権と教育」
『教育総研理論講座・21世紀を拓く教育 第3巻 教育の未来をつくる』
明石書店 (1996年6月)
- 梅田 修「『同和教育』継続論の論拠について」『もうやめへんか「同和」』
同和行政・同和教育を考える会、かもがわ出版 (1996年8月)
- 本庄孝夫/山本 剛/谷本善弘/雑賀光夫/藤本雅英/鈴木 元
「座談会 どの子ども伸びるあたりまえの教育を」
『もうやめへんか「同和」』
同和行政・同和教育を考える会、かもがわ出版 (1996年8月)
- 徳島県那賀川町教育研究所編『研究紀要 第23集』 (1997年3月)
- 源 勤一『カウンセリングの目を生かす人権教育—いじめ・不登校と向き合って』
明治図書 (1996年11月)
- 中村 拓三監修・勸解放教育研究所編
『シリーズ解放教育の争点① 解放教育のアイデンティティ』
明治図書 (1997年3月)
- 中村 拓三監修・勸解放教育研究所編
『シリーズ解放教育の争点② 人間関係づくりとネットワーク』
明治図書 (1997年3月)

3 教育調査

- 梅田 修「『自己概念』導入の顛末(上)—「宝塚市同和教育にかかる教育総合調査」の検討」
『月刊部落問題』 237号 (1996年9月)
- 梅田 修「『自己概念』導入の顛末(下)—「宝塚市同和教育にかかる教育総合調査」の検討」
『月刊部落問題』 238号 (1996年10月)

- 谷口 正暁「『学力生活総合実態調査』に反対する大阪でのたたかい」
『部落』 613号 (1996年12月)
- 中野 陸夫「同和教育副読本と『社会観』の形成—同和教育総合実態調査の結果から—の問題提起」
『解放教育』 339号 (1996年5月)
- 池田 寛「自己概念と学力に関する理論的考察—部落の学力・生活実態調査の結果から」
『大阪大学人間科学部紀要』 22号 (1996年3月)

4 教育政策および教育改革

- 野口 克海「教育改革と解放教育の課題」
『部落解放』 臨時号402号 (1996年2月)
- 堀 一人・糺 秀章「高校教育改革をめぐる動きと解放教育のめざすもの」
『部落解放研究』 110号 (1996年6月)
- 長尾 彰夫「アメリカの学校改革の示唆するもの—『デモクラティック スクール』を手がかりに」
『部落解放研究』 110号 (1996年6月)
- 森 実「『授業と地域からの教育改革』をめぐる議論の背景」
『解放教育』 339号 (1996年5月)
- 長尾 彰夫「第15期中教審「審議のまとめ」を読む」
『解放教育』 344号 (1996年10月)
- 黒沢 惟昭「教育の病理と高校改革の展望」
『解放教育』 352号 (1997年5月)
- 小寺 好「広島県の高校教育改革運動について」
『解放教育』 352号 (1997年5月)
- 易 寿也「高校改革と総合学科の挑戦」『解放教育』 352号 (1997年5月)
- 矢野 洋「一貫した学校教育のシステムをどう創り出すか」
『人権教育研究』 7号 (1996年5月)
- 政 策 課「第15期中央教育審議会第1次答申について」
『教育委員会月報』 557号 (1996年9月)
- 政 策 課「『教育改革プログラム』の策定について」
『教育委員会月報』 563号 (1997年2月)
- 政 策 課「中央教育審議会の動向について」
『教育委員会月報』 563号 (1997年2月)
- 清原 正義「地方分権・規制緩和と教育」『教育評論』 598号 (1997年3月)
- 黒崎 勲「就学校指定と選択論をめぐって」
『教育評論』 598号 (1997年3月)
- 木村 武司「地方分権と教育行財政のゆくえ」
『教育評論』 598号 (1997年3月)
- ㈱経済団体連合会「創造的な人材の育成に向けて—求められる教育改革と企業の行動」
『季刊 教育法』 106号 (1996年11月)

- 鍋島 祥郎「個性の国=アメリカの解放教育を視る—パブリックスクール、プライベートスクール」 『解放教育』 349号 (1997年3月)
- 鍋島 祥郎「個性の国=アメリカの解放教育を視る—アフリカ中心主義」 『解放教育』 351号 (1997年4月)
- 鍋島 祥郎「個性の国=アメリカの解放教育を視る—解放教育とは何か」 『解放教育』 352号 (1997年5月)
- 三浦 寿夫/秋月正士「人権教育指針の具体化」 『解放教育』 352号 (1997年5月)
- 梅田 修「[人権教育]のゆくえ① [同和教育]から[人権教育]へ」 『どの子も伸びる』 246号 (1997年4月)
- 梅田 修「[人権教育]のゆくえ② [人権擁護施策推進法]と教育」 『どの子も伸びる』 247号 (1997年5月)
- 中野 陸夫「人権・部落問題学習と人権文化」 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 曾和 信一「人権教育の方法論の構築に向けて」 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 桂 正孝「生活世界を開く人権教育を」 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 秦 政春「教師の日常的な教育活動と[人権教育]」 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 森 実「人権教育におけるスキル概念の意義」 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 平沢 安政「人権文化を育むためのスキル」 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 園田 雅春「スキルを生かせる環境と主体形成」 『現代教育科学』 483号 (1997年1月)
- 全国在日朝鮮人教育研究協議会『これからの在日朝鮮人教育'96』 (1996年8月)
- 田中圭治郎『多文化教育の世界的潮流』 ナカニシヤ出版 (1996年10月)
- 大阪府在日外国人教育研究協議会『21世紀を展望する多文化共生教育の構想—府外教のめざす在外外国人教育』 (1997年1月)

2 解放教育一般および理論

- 松岡 徹「二十一世紀を展望する解放教育をめざして」 『部落解放』 臨時号402号 (1996年2月)
- 渡久山長輝「日教組と解放教育の課題」 『部落解放』 臨時号402号 (1996年2月)

- 森山 沾一「人権教育の先取りとしての[同和]教育運動」 『部落解放』 406号 (1996年6月)
- 「解放教育の課題」 『部落解放』 臨時号418号 (1997年3月)
- 梅田 修「[同和教育]継続論の批判的検討—[同和教育]の今後にふれて」 『月刊部落問題』 240号 (1996年12月)
- 司会・村上 保/竹中 登/前田昌彦/大島伸生/雨松康之/斎藤浩志
「座談会 [同和教育]のゆくえ—兵庫の現状と今後」 『月刊部落問題』 244号 (1997年4月)
- 谷口 幸男「1995年度同和教育研究の成果と課題」 『部落問題研究』 138号 (1996年11月)
- 青木孝寿/阿藤満政/小橋元春/塩入弘文/富森啓児/宮崎利幸/司会構成・東上高志「座談会 長野県の部落問題と同和教育—[解同体制]をどう打ち破るか」 『部落』 610号 (1996年9月)
- 広田 仁義「北九州市の同和教育」 『部落』 613号 (1996年12月)
- 平石克彦/松尾敬一/山口 隆/谷口正暁/司会構成・東上高志
「座談会 解放教育の一掃、同和教育の終結—大阪に見る中教審路線へのすりより」 『部落』 616号 (1997年2月)
- 高田 嘉敬「[学力]について」 『こべる』 36号 (1996年3月)
- 松岡 勲「[解放教育の終焉]を考える」 『こべる』 44号 (1996年11月)
- 山口 渉「[同和]教育への提言」 『ながさき部落解放研究』 33号 (1996年10月)
- 古賀 芳夫「校内[同和]教育研修会問題に関する報告と提起」 『月刊スティグマ』 14号 (1996年6月)
- 山口 隆「文部省教育政策を先取りする[解放教育]路線」 『解放の道』 154号 (1996年11月)
- 「同和教育の終結めざし二十一世紀に部落問題を持ち越さず[新聞全教]」 『国民融合通信』 266号 (1996年8月)
- 武藤 啓司「解放教育の根幹は何か」 『解放教育』 339号 (1996年5月)
- 第一次解放教育検討委「解放教育の原則とは」 『解放教育』 339号 (1996年5月)
- 桂 正孝「環境学習の視座」 『解放教育』 342号 (1996年8月)
- 吉野真理子「[同和教育]の活性化を求めて(上)」 『解放教育』 348号 (1997年2月)
- 吉野真理子「[同和教育]の活性化を求めて(下)」 『解放教育』 349号 (1997年3月)
- 奥田 均「[部落差別の現状認識]を考える—[部落問題]と[人権問題]の発展的接点を求めて」 『解放教育』 349号 (1997年3月)
- 奈良 守康「同和教育と人権教育は同じ? 違う?」

- 「資料／「人権教育のための国連十年」に関する国内行動計画（中間まとめ）」
『解放教育』 349号（1997年3月）
- 「「人権教育のための国連10年」に関する国内行動計画（中間まとめ）をめぐる資料」
『解放教育』 351号（1997年4月）
- 「資料／人権教育のための国連10年 大阪府行動計画」
『解放教育』 352号（1997年5月）
- 特集 国連人権教育の十年
菅 源太郎／福西 満／萱野 茂／木之下孝利／佐藤 洋／福島 瑞穂
／コーディネーター・山崎 文夫
「シンポジウム 差別の実態を踏まえ、人権文化の創造を」
- 村越 末男「「国連人権教育の十年」で問われているもの」
『現代教育科学』 483号（1997年1月）
- 長尾 彰夫「解説／「国連人権教育の十年」の行動計画」
『現代教育科学』 483号（1997年1月）
- 全国同和教育研究協議会事務局編『「人権教育のための国連10年」と同和教育」
（1996年11月）
- 反差別国際運動日本委員会編
『21世紀を人権文化の時代に－「国連人権教育の10年」推進のために」
解放出版社（1996年12月）
- 『「国連人権教育の10年」人権文化の花を咲かせよう』
ヒューライツ大阪（1995年10月）
- ②子どもの権利条約**
- 山崎 文夫「責任感のある子どもは責任感のあるおとなに育てられる－『子どもの権利条約に関する第1回政府報告』について」
『部落解放』 412号（1996年11月）
- 養父 知美「子どもの権利条約の意義と課題」
『部落解放』 臨時号417号（1997年2月）
- 鳥飼 雄二「「子どもの権利条約」を子どもに伝える取り組み」
『解放教育』 340号（1996年6月）
- 平野 裕二「50ヵ国について報告審査終える 国連・子どもの権利委員会第11会期報告」
『いんぷおめーしょん 子どもの人権連』 44号（1996年6月）
- 池田 一男「子どもたちの人権の砦に」『はらっぱ』 160号（1997年1月）
- 浜田 進士「子どもの権利と国際理解教育」
『月刊 社会教育』 487号（1996年8月）
- 喜多明人／坪井由実／林 量俣／増山 均編
『子どもの参加の権利－〈市民としての子ども〉と権利条約』
三省堂（1996年10月）

- 子どもの権利条約 市民・NGO 報告書をつくる会編
『子どもの権利条約 市民・NGO 意見集』 母と子社（1996年7月）

③人権教育全般

- 栗野 真造「人権教育をより総合的なものに」
『部落解放』 405号（1996年5月）
- 岡崎 裕「ヨーロッパにおける人権教育研修－ISNET の事例を通じて」
『部落解放研究』 105号（1995年8月）
- 森田 ゆり「エンパワメントと人権①」
『ヒューマンライツ』 103号（1996年10月）
- 森田 ゆり「エンパワメントと人権②」
『ヒューマンライツ』 104号（1996年11月）
- 森田 ゆり「エンパワメントと人権③」
『ヒューマンライツ』 105号（1996年12月）
- 森田 ゆり「エンパワメントと人権④」
『ヒューマンライツ』 106号（1997年1月）
- 森田 ゆり「エンパワメントと人権⑤」
『ヒューマンライツ』 107号（1997年2月）
- 下村 哲史「体験的参加型人権学習に取り組んで」
『ヒューマンライツ』 107号（1997年2月）
- 表西貴文／岸秀雄／香芝市同和教育推進協議会／瀧川高志／藤谷正也／中島 敏
／松本めぐみ「ファシリテーター体験記」
『ヒューマンライツ』 107号（1997年2月）
- 金香百合さんに聞く「ファシリテーターって何？」
『ヒューマンライツ』 107号（1997年2月）
- シュラミス・ケーニッヒ「挑戦と可能性」
『ヒューマンライツ』 107号（1997年2月）
- 森田 ゆり「エンパワメントと人権⑥」
『ヒューマンライツ』 108号（1997年3月）
- 森田 ゆり「エンパワメントと人権⑦」
『ヒューマンライツ』 110号（1997年5月）
- 岩崎 裕保「開発教育を通じて学校文化再考へ－民主化を進める」
『ひょうご部落解放』 73号（1997年1月）
- 金香百合「セルフエスティームについて考える」
『ウインズ・風』 10号（1997年2月）
- 西田 満子「参加・体験型のワークショップ」
『ウインズ・風』 10号（1997年2月）

資料

教育・地域部門関係文献目録

(1996年6月～1997年5月)

以下の目録は、本号特集の一環として、概ね1996年6月から1997年5月の間に発表された著作・論文等を対象に、分野別に分類して掲載した。

1 人権教育および「人権教育のための国連10年」

①「人権教育のための国連の10年」

- 友永 健三「世界中に人権文化を建設しよう」
【部落解放】 405号 (1996年5月)
- 明石 一郎「「人権教育のための国連10年」の意義と同和教育の課題」
【部落解放】 臨時号418号 (1997年3月)
- 「資料 人権教育のための国連の10年(1995年から2004年)のための行動計画の実施 人権高等弁務官報告」
【部落解放研究】 110号 (1996年6月)
- 米田 伸次「国際理解教育と人権教育」
【ヒューマンライツ】 108号 (1997年3月)
- 森 実「国連人権教育10年の具体化」
【ヒューマンライツ】 109号 (1997年4月)
- 高 賛 侑「国連人権教育の10年 第1回 子どもらが虹の橋をかける日」
【ヒューマンライツ】 110号 (1997年5月)
- 米田 伸次「国連人権教育10年と同和教育」
【ひょうご部落解放】 70号 (1996年7月)
- 平沢 安政「「人権教育のための国連10年」と人権文化の創造」
【ひょうご部落解放】 71号 (1996年9月)
- 岡崎 裕「「国連人権教育の10年」とヨーロッパの人権教育」
【ひょうご部落解放】 72号 (1996年11月)
- 八木 英二「「国連人権教育の10年」を考える」
【月刊 滋賀の部落】 263号 (1997年3月)
- 「「人権教育のための国連10年」に関する国内行動計画」
【月刊 スティグマ】 21号 (1997年2月)
- 平沢 安政「「人権教育のための国連10年」の歴史的意義」
【グローブ】 9号 (1997年春)
- 中川 幾郎「人権文化の創造—私はこうとらえる」
【解放教育】 341号 (1996年7月)